

木村まゆみです。先日、産直おらほの館で開かれた「秋の大感謝祭」に参加しました。初めて食べた「だまこ鍋」は、もちもちとした大きなだまこと、やさしいお出汁が絶品。石川そばはさらりと食べやすく、毎日食べても飽きない味わいで、どのように作られているのか興味がありました。

会場にはたくさんさんのキッチンカーが並び、魚のお出汁がしみる「じゃっぱ汁」にも感動。お店の方から「若い世代の中には「じゃっぱ汁」を知らない人もいます」と伺い、魚がおいしい八峰町だからこそ、昔ながらの食文化を伝えていく大切さを強く感じました。

さらに、初めての餅投げ体験では、屋根の上から餅がふわりと舞い、地元の方と声を掛け合いながら挑戦。思っように取れず苦戦しましたが、温かな交流に心がほっこりしました。「木村さんそっち行ったよ」名前を知っていたことも嬉しく、地域の方との距離が近づいた気がしました。

会場では、ダンスや八峰町ワイズ

も行われ、私はつかみどりに挑戦。ジャガイモといたけを片手や両手で取った分を100円でもらえるという企画で、お子さんたちと一緒に盛り上がっていました。私は地元野菜をたっぷり持ち帰り、大満足。

世代を問わず多くの方が楽しむ姿が印象的で、とくに若い家族連れが多く、活気ある雰囲気に包まれました。今回の体験を通じて、町の行事やお祭りには地域の魅力がぎゅっと詰まっていると実感しました。

これからも積極的に参加し、楽しみながら情報発信をしていきたいです。そして来年は、実行役の一人として地域を盛り上げていきたいと感じました。

まだまだ知らないことがたくさんあります。これからもっと地域の歴史や文化、食の魅力に触れてみたいですし、さまざまな活動にも参加してみたいと思います。機会があれば、ぜひ声をかけていただけると嬉しいです。地域の一員として、八峰町の魅力を体感し、多くの方に伝えていけるように頑張っていきたいです。



おくやみ

大 高 文 和 (91) 目名湯
工 藤 芳 美 (91) カチキ台
後 藤 恵 子 (55) 内 坂
田 村 一 郎 (99) カチキ台
高 崎 タカ子 (71) 椿 台
田 村 タツ (89) 八 森 3
伸 居 正 子 (94) 八 森 3
工 藤 英 美 (88) 浜 田
武 田 卓 夫 (67) 八 森 1

善意をありがとう

(敬称略)

八峰町社会福祉協議会へ

「香典返しにかえて」

菊 地 勇 一 (滝の間)

亡 母 キヨ

白 鳥 亮 一 (椿 台)

亡 母 笑 子

高 杉 泰 治 (大 沢)

亡 父 昇 一

長 門 学 (目名湯)

亡 父 文 雄

厚くお礼申し上げますとともに、故人のご冥福をお祈りいたします。



人の動き

(9月30日現在)



人口 5,962人 (18人減)
男 2,809人 (5人減)
女 3,153人 (13人減)

異動内訳
出生 0人
死亡 12人
転入 7人
転出 13人

世帯数 2,906世帯 (4世帯減)

(一)の数字は前月との比較。
この数字は住民基本台帳に基づいています。
(外国人を含む)

企業版ふるさと納税の寄附がありました

有効に活用させていただきます

株式会社友愛ビルサービス 代表取締役 小畑 悟
寄附金額 60万円 活用先 定住促進住宅事業
ユーアイ警備保障株式会社 代表取締役 小畑 悟
寄附金額 40万円 活用先 若者世代生活応援事業



おらほの館

イベント
12/14日 27周年祭
もちつき祭り



冬支度は
おらほの館で!!
八峰町峰浜沼田「道の駅」となり
よろしく
☎76-4649

お薬のこと、健康のこと...etc
何でもご相談ください!

皆川薬局

八峰町峰浜水沢字稲荷堂後120-6
TEL.76-2052・FAX.76-2199

営業時間 8:00~18:00 / 休業日 日曜日・祝祭日

CSレター

コミュニティ・スクールからこんにちは

～ 八峰中学生の地域探訪より ～

少し前の話になりますが、9月4日(木)、5日(金)の両日、八峰中学生を対象にした「町生涯学習奨励員による地域探訪」が行われました。この活動は、生涯学習奨励員の会(山本百合子会長)の皆さんによるガイドのもと、バスで地域巡りをしながら地区について理解を深めることをねらいとして実施されたものです。昨年の八森地区に続き、今年度は埴川地区を訪ねました。

当日、学校を出発した一行は、畑谷地区を皮切りに、約2時間をかけて埴川地区を一巡しました。途中、強坂の長泉寺では、柳川宣史さんが寺の歴史や境内の「しなの木」(町自然文化財)について解説してくださいました。

同じ八峰中学生でありながら、普段なかなか埴川地区に足を運ぶ機会のない八森地区の生徒たちは、バスの車中で奨励員の皆さんが語る歴史やこぼれ話などに熱心に耳を傾け、興味深そうにメモをとっていました。

私も活動に同行しましたが、それこそ八峰町民(浜田在住)でありながら、初めて耳にするエピソードや集落名のいわれなどを知ることができ、おかげさまでこれまで知らなかった町の新たな一面に触れる、とても有意義な時間となりました。

もしかすれば、町民の皆さんの中には、町内でまだ訪れたことのない場所やもっと詳しく知りたい事柄がある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。機会をとらえて、仲間といっしょに、あるいは、生涯学習奨励員や文化財保護協会などの関係団体の皆さんの力を借りながら、“大人の地域探訪”としゃれこんでみるのも一興ではないでしょうか。

(文責・CSD工藤克弥)

